

令和7年度 みくま 事業計画書

1 はじめに

令和6年度は、適切な事業管理が根付くとともにチーム支援に対する意識の高まりなど利用者支援の充実が図られたと感じる1年であった。また、弁当製造事業を始め就労支援事業は令和5年度に引き続き好調で概ね安定した事業運営が行えた。その一方で4月に異物混入事故、9月に加熱不足の可能性がある食材を提供する事故が発生し、法人より危機管理意識の低さを指摘されるなど大きな反省点もあった。衛生管理に対する新たな対策として「弁当製造におけるリスクチェック表」を作成し、事故のリスクの事前予測と対策を行い事故防止の徹底に取り組んでいる。令和6年度は報酬改定が行われ、これまで以上に就労支援事業の収支が事業所の経営に大きく影響する内容となった。就労支援事業の中心である弁当製造事業において原材料の値上げや最低賃金の上昇に伴う人件費の増加が続いており、これまで以上に収支状況を注意深く見守り、必要に応じて迅速に対策を行う必要があると感じている。令和7年度は令和6年度の重点課題に継続して取り組み、利用者支援の質の向上や弁当製事業を始めとした就労支援事業の充実など事業全体の充実化を図りたい。

2 事業概要

- | | | | |
|------------|-----------------|----|-----------|
| 1) 施設名 | みくま | | |
| 2) 事業種別 | 就労継続支援A型 | | |
| 3) 所在地 | 東京都小平市大沼町2-1-12 | | |
| 4) 経営主体 | 社会福祉法人 未来 | | |
| 5) 利用定員 | 17名 | | |
| 6) 利用現員 | 19名 | | |
| 7) 法人認可年月日 | 平成14年12月11日 | | |
| 8) 事業開始年月日 | 平成25年 1月 1日 | | |
| 9) 職員 | 管理者 | 1名 | |
| | サービス管理責任者 | 1名 | |
| | 職業指導員 | 2名 | (常勤換算1.4) |
| | 生活支援員 | 4名 | (常勤換算2.5) |

3 基本理念

- 1) 一人ひとりの自己実現
- 2) 互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築
- 3) 安心と希望の持てる生活

4 基本方針

- 1) 就労支援
「みくま」の従業員として能力が発揮できるように、個々の状況にあった作業を提供する。また、一般企業で働く為のステップアップとして、就労に向けた相談や就職活動に関して支援する。
- 2) 生活支援
利用者が安心、安定した生活ができるよう支援を行う。一般企業へのステップアップを希望している利用者に対しては、生活面等の課題を把握し就労に向けた生活全般の支援を関係機関と連携しながら行う。

5 実施事業（活動内容）

- 1) 就労支援事業
 - (1) 弁当製造・販売
 - (2) 清掃及び受注事業
 - (3) 緑化推進事業
- 2) 行事
 - (1) バスハイク（年1回実施）

6 日 課

開所・作業	7 : 30 ~ 12 : 20
昼礼	12 : 20 ~ 12 : 30
休憩	12 : 30 ~ 13 : 30
作業・記録等	13 : 30 ~ 17 : 30

7 重点課題・目標

1) 活動

(1) 就労支援事業の充実

① 弁当製造事業安定のため次のことを実施する。

ア. 安定収入を確保する

- ・近隣の企業や医療機関等へチラシの配布など営業活動を行い、新規に顧客を増やす。
- ・弁当の委託販売先を増やすための営業活動（電話・チラシ配布）を行う。

	1 日平均 日替弁当売上	年間売上
令和 6 年度実績（見込）	2 5 9 個	3, 1 1 9 万円
令和 7 年度目標	2 6 0 個	3, 1 4 6 万円
増加分	1 個	2 7 万円

イ. 内容充実のための取り組み

- ・衛生管理の徹底 — HACCP（※1）の考え方を取り入れた衛生管理マニュアルを遵守するとともに、白衣や帽子の正しい着用方法や粘着ローラーの使い方の講習を定期的実施するなど異物混入防止を徹底する。また、「弁当製造におけるリスクチェック表」を活用し、事故の事前予測及び対策を徹底する。
- ・弁当内容の充実 — 顧客満足度向上、飽きさせないために、主菜及び副菜の見直しを定期的に行うとともに、現在のメニューの完成度を高める。また、盛り付け方法や彩りを工夫し、購買意欲を促進する。

（※1）HACCPとは・・・安全な食品を製造するための製造工程の管理方法のこと

ウ. 販売価格の再検討

原材料費、燃料費等の動向を注視し、原価率などから必要に応じて適正な販売価格の設定を行う。

② 新規作業を実施する。

不定期の作業を含め、作業時間や人員を有効に使える作業を積極的に取り入れる。

③ その他の作業を含め売上増加を目指す。（概算、単位：円）

	令和 7 年度目標売上	令和 6 年度実績（見込）	差額
弁当製造事業	3, 1 4 6 万	3, 1 1 9 万	2 7 万
清掃作業	5 1 2 万	5 1 2 万	0 万
緑化推進事業	1 8 万	6 0 万	△ 4 2 万
利用者支援業務	1 8 万	1 8 万	0 万
名刺の作成作業	1 9 万	1 6 万	3 万
その他受注作業等	1 2 万	1 1 万	1 万
合 計	3, 7 2 5 万	3, 7 3 6 万	△ 1 1 万

緑化推進事業の収入は他事業所との作業配分が変更されたため令和 7 年度目標が 4 2 万円の減額となった。

(2) 利用者支援の充実（PDCAサイクルの実施）

- ① 利用者個々の状況や希望に応じた個別支援計画を作成し、支援方針や目標を共有する。
- ② 職員間の情報共有の基、計画に基づいた支援を行う。
- ③ 支援経過を丁寧に記録し、情報共有や意見交換等による支援経過や成果について評価を行う。
- ④ 課題解決に向けた取組と必要に応じて計画の変更、見直しを行う。

2) 人材育成

(1) 利用者の心情理解

- ① 傾聴による気持ちの安定化
- ② 長所の評価などによる意欲の向上

(2) 利用者の職業指導の充実

(3) 職員の連携強化（利用者の直接支援以外の業務における相互補完・連携協働）

3) 経営管理

(1) 利用待機者の確保を行い経営基盤の安定を図る

- ① 近隣の関係機関リストをもとに、ワークセンター夢の樹就労移行支援、定着支援、バウムと連携し、近隣の特別支援学校、就労支援センター、特定相談支援事業所、就労継続支援B型事業所等へ利用待機者の募集を行う。
- ② 法人機関紙およびホームページへ募集案内を掲載、チラシ配布、ポスター掲示などの広報活動により利用者待機者の募集を行う。
- ③ 令和7年度の安定した経営のため、報酬算定の基準となる就労継続支援A型事業所におけるスコアの点数増加の取り組みを行う（外部機関が実施する研修の受講や、他のA型事業所への視察など）。

(2) 各種記録の整備など、事業管理に必要な事項の遂行を徹底するとともに、その経過等を確実に記録に残す。

(3) 経営状態を把握し必要な対策を講じる

毎月、月次試算報告を行い、財務状況について職員の理解を深め、経営的視点の共有を図ると共に、年度の収支予測を丁寧に行い、黒字収支に向けた目標を随時確認、または必要に応じて変更する。

8 環境の整備

施設内外の美化と利用者周辺の整理整頓につとめ、危険の防止に努める。

9 健康管理

- 1) 新型コロナウイルスの感染症等の感染防止対策を徹底する。
- 2) 定期的に健康診断・身体測定を行い、健康状態の把握に努めるとともに、利用者の家族、保健師等との連携を密にし、健康管理・疾病の予防に努める。

10 防災計画

管理者の指示のもとに、非常災害訓練を年2回実施する。

総指揮 管理者

連絡担当 サービス管理責任者及び生活支援員

救助担当 職業指導員及び生活支援員

11 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかなう。